

# 仙台東支店内に新倉庫を竣工

## 第一貨物



長 藤 社 長  
武 藤 社 長  
第一貨物（武藤幸規社長）

台支店内には、2115平方メートルの倉庫があったが、一昨年の東日本大震災でダクトが落下するなどの被害を受けたことから、支店内の隣接地に新築した。

新倉庫（写真）は鉄骨造り3階建てで、2階は事務所となる。倉庫部分は1階が2195平方メートル、3階が2369平方メートルで、4564平方メートルと旧倉庫の2・16倍の面積を持つ。天井高は7メートルで、床荷重は1平方メートル当たり1・5トンの荷役用エレベーター1基と1時間当たり80パレットの処理能力を持つ2パレット型の2・5トンの積み垂直搬送機（不二輸送機工業製）を1基、ドックレベラー1基を備える。全倉庫内と事務所の一部には9万時間の長寿命LED照明を採用、従来のHF蛍光灯と比べ約55%の省エネを実現した。

竣工披露の挨拶に立った武藤社長は、「一昨年の東日本大震災では、私どもも例外ではなく、4名の犠牲者を出し、気仙沼は流失、石巻は水没、トラックは流されるなど、被害額は約10億円に達した。この仙台支店も被害を受けたが、お客様から拡張の要請もあり新築することにした。この地区では物量が増加しており、この仙台東倉庫は東北の要として、お客様のサポート、東北経済の拡大に寄与したい」と述べた。次に、同倉庫に東北物流センターを置く、日本食研の三井賢二執行役員東日本営業本部長が来賓として祝辞を述べ、安達英雄常務の乾杯の音頭で祝宴に入った。

